

urls.py

url の path と view 関数を紐付けるためのファイル。

Listing 1 myproject/urls.py 記述例

```
1 from django.conf.urls import url, include
2
3
4 urlpatterns = [
5     url(r'^admin/', admin.site.urls),
6     url(r'^polls/', include('polls.urls', namespace='polls')),
7 ]
```

Listing 2 polls/urls.py 記述例

```
1 from django.conf.urls import url
2
3 from . import views
4
5
6 app_name='polls' # django1.9からはこの書き方を推奨
7 urlpatterns = [
8     url(r'^$', views.index, name='index'),
9     url(r'^(?P<pk>\d+)/$', views.detail, name='detail'),
10    url(r'^(?P<pk>\d+)/results$', views.results, name='results'),
11 ]
```

第 1 引数の文字列の前の r は raw を示す記号。 \ などを escape なしに記述できる。

url 関数

def url(regex, view, kwargs=None, name=None):

第一引数は正規表現。第 2 引数は呼び出す view 関数。

任意で view 関数に渡す引数、逆引きに使用する名前を指定。

正規表現の中に (?P<name>...) と書くことで url 中の文字を引数として view 関数に渡せる。

include 関数

def include(arg, namespace=None, app_name=None):

urls.py を app 毎に分割したい場合は url 関数の第 2 引数にこの関数を記述する。

app_name は deprecated。django1.11 では namespace もここで書かずに呼び出し元の urls.py に app_name をセットするように推奨されている。

正規表現例

パターン	内容	補足
^	文頭	文字の先頭
\$	文末	
\d	数字	新しいアプリの追加
[]	カッコ内のいずれかの文字	[abc]: a, b, c の文字のどれか
[^...]	カッコ内のいずれかの文字以外	[^abc]: a, b, c の文字以外
[...-...]	カッコ内の文字のスタートから終わりまで	[a-z]: 小文字全部
(pattern)	パターン化	
(?P<name>pattern)	パターン化 (名前付き)	
*	直前パターン 0 回以上	パターンがなくてもマッチ
+	直前パターン 1 回以上	
?	直前パターン 0 回か 1 回	
{n,m}	直前パターン n 回以上 m 回以下	